

## 就労継続支援 A 型に係る基本報酬の算定区分に関する届出書

事業所名	ネクステクノ	
人員配置区分	1. I 型 (7.5 : 1)	2. II 型 (10 : 1)
定員区分	1 21人以上40人以下 2 41人以上60人以下 3 61人以上80人以下 4 81人以上 5 20人以下	
評価点区分	1 評価点が170点以上 2 評価点が150点以上170点未満 3 評価点が130点以上150点未満 4 評価点が105点以上130点未満 5 評価点が80点以上105点未満 6 評価点が60点以上80点未満 7 評価点が60点未満 8 なし (経過措置対象)	
評価点の公表	ネット	(公表場所) 法人ホームページ  (URL) <a href="https://www.nextus-japan.com/">https://www.nextus-japan.com/</a>
	その他	

注1 厚生労働大臣が定める事項及び評価方法（令和3年厚生労働省告示第88号）に基づき評価点を算出すること。

なお、別添「就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（全体）」も併せて提出すること。

注2 評価点区分「なし（経過措置対象）」は、指定を受けてから1年度間を経過していない事業所が選択する。





注3 評価点の公表については、インターネットを利用した公表方法の場合は、公表場所と当該公表場所のURL等を、その他の方法による場合は、その公表方法を記載すること。

なお、公表していない場合は、減算となるので留意すること。

## 就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	ネクステクノ	事業所番号	1810102325
住 所	福井市高柳1丁目1302	管理者名	足田 耕二
電話番号	0776-54-7665	対象年度	令和5年度

## 地域連携活動の概要

<p>&lt;活動内容&gt;</p> <p>施設内での受託業務として、下記の事業を実施</p> <p>①福井市西開発の(有)小金屋食品の製造する納豆用大豆の選別業務</p> <p>②坂井市丸岡町竹田地区で生産するハーブティーのバック詰め</p> <p>①は2018年12月から、②は2021年1月からそれぞれ作業している</p> <p>原則毎日利用者が2～5名程度作業にあっている</p>	<p>&lt;活動の様子&gt;</p>  <p>※利用者による大豆の選別作業の様子</p>   <p>※利用者によるハーブ袋詰めの様子</p>  <p>↑楽天市場やふるさと納税等でも販売されています。</p> <p>納豆もハーブもスーパーや道の駅など利用者の日常に触れるところに商品がなることで、作業へのやりがいや自信につながりやすく、利用者への訓練や成長のためになる。</p>
<p>&lt;目的&gt;</p> <p>大豆はそのままで粉などに加工される品質の低い物をJA福井県様より仕入れ、地産地消に向けた取り組みとしている</p> <p>バジルは丸岡竹田地区と福井市清水地区の過疎による耕作放棄地を有効活用している</p> <p>共に地域の中小企業や農業法人等の生産に協力し、農地保全・景観維持・廃棄ロス・集落の活性化や雇用の創出を目的としている</p>	
<p>&lt;成果&gt;</p> <p>小金屋食品の大豆は「東京納豆」などの高ブランド品や学校給食に提供を実現しており、収益性の向上や食育および地産地消に貢献している</p> <p>セレクションのバジルは県内の各道の駅での販売および坂井市のふるさと納税の返礼品に選んで頂き竹田地区の発展に寄与している</p> <p>ハーブは生産を地域の認定農業者・加工を当社(A型)、ラベル貼りをワークかすみ(B型)、福祉・農業・行政(販売)が連携できている</p>	

## 連携先の企業等の意見または評価

<p>小金屋食品様</p>			
<p>品質が悪いJAが販売困難な商品を大量に購入(1か月あたり約5000キロ)できており、JAおよび生産者の方々から非常に喜んで頂いている。</p>			
<p>県外の大企業との価格競争が激しいため、大きなコストカットが出来ており更なるパート雇用や障害者雇用も検討できるようになった。</p>			
<p>年によって非常にいい品質の大豆が市場に大量に出回ると作業が無くなってしまい取引がゼロになってしまうことが課題(2020年後半)だったが、</p>			
<p>小金屋食品様の買い付け努力により少しずつ改善されている。</p>			
<p>セレクション様</p>			
<p>今までは自分でバック詰め等の作業をしていたが、当社との連携により営業・販売に時間を割くことが出来るようになり売り上げが上がった。</p>			
<p>販売量が増えたことで近隣の耕作放棄地を更に借り上げてハーブの栽培面積を増やす予定であり、近隣の住民や農業者からも喜ばれている。</p>			
<p>今後はハーブティーだけでなくパスタなどの加工食品に練りこんだり、より高価格帯の販路やネット上での県外への販売を拡大するといった点が課題であり目標。</p>			
<p>連携先企業名</p>	<p>(有)小金屋食品 セレクション ハーブ事業部(認定農業者)</p>	<p>担当者名</p>	<p>代表取締役社長 北得 克則 代表 戸川 隆</p>

## 就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	ネクステクノ	事業所番号	1810102325
住所	福井市高柳1丁目1302	管理者名	足田 耕二
電話番号	0776-54-7665	対象年度	令和5年度

### 利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p><b>&lt;活動内容&gt;</b></p> <p>福井市自立支援協議会就労支援部において一般就労のための新たな取り組みとして出張セミナーを企画提案し、同席していたしごと支援課①・ハローワーク②の担当者と協力し当事業所の食堂にて一般就労に向けた出張セミナーを開催するに至った。</p> <p>①2023.9.27 (水) 9:00-16:30 (しごと支援課主催)</p> <p>内容：キャリアコンサルタントと一緒に履歴書等を作成、自分の強み探しも行った。また、面接でのポイントを確認し実際に模擬面接を行った。</p> <p>参加者：就労継続支援A型在籍の利用者2名、しごと支援課スタッフ1名、キャリアプラススタッフ2名、当事業所職員1名が参加。</p> <p>②2023.12.25 (月) 15:00-16:30 (ハローワーク主催)</p> <p>内容：ハローワークとは？ハローワークはどのように利用するの？をテーマに、ハローワークを利用したことのない方・ハローワークの利用を希望される方向けに利用する手順を教えていただいた。</p> <p>参加者：就労継続支援A型在籍の利用者2名、就労継続支援B型在籍の利用者3名、ハローワーク福井スタッフ3名、当事業所職員2名が参加。</p> <p><b>&lt;目的&gt;</b></p> <p>就職活動に必要な履歴書等の書き方、面接でのポイントを教えてもらうことにより、一般就労への意識を高めることができる。また、ハローワークの方に直接指導していただくことにより自信に繋げることができる。</p> <p>セミナー終了後も専属のキャリアコンサルタントが就職活動のサポートをしてくれる。また、ハローワークとは何か？を理解することにより、ハローワークを利用した幅広い業種・職種への就職の意識が高まる。</p> <p><b>&lt;成果&gt;</b></p> <p>一般就労することが現実味を帯びることにより、具体的な目標が定まることで仕事に取り組み姿勢に積極性が見られ作業種目も増えた。</p> <p>①のセミナーに参加された方のうち1名がR6.1月に一般就労した。(現在も就労継続中)</p> <p>課題点としては、次回からは参加の声掛けを早めに行い、1人でも多く参加してもらう。特に一般就労を意欲している利用者の中でも、より意識した利用者を中心に参加の声掛けを行う。合同就職説明会に参加した時点で斡旋されたことになり、企業側に特定求職者等雇用開発助成金が支給されないことで他の希望者と比較して不利な状況になった。離職後の応募であっても再就職手当の支給要件もなく、合同就職説明会との連携は利用者と企業の双方にデメリットとなる面がある。</p>	<p><b>&lt;活動の様子&gt;</b></p> <p>キャリアコンサルタントと一緒に自分探しの旅へ</p>  <p>実際に履歴書を作成、自分だけのオリジナルストーリーを盛り込んだ履歴書の完成！</p>  <p>「家族以外の誰かと一緒に就職について考える」</p> <p>参加した皆さんからは、自分をサポートしてくれる人がいる、自分と一緒に考えてくれる場所があるんだという安心感と「次は自分こそ！」という強い意気込みが感じられました。</p>
---	---

### 連携先の企業や事業所等の意見または評価

自分自身も利用者様と関わることで、どのようなことが課題となるのか？どのようにサポートしていくと1人でも多くの方を希望する就職先へ繋ぐことが出来るのか？と改めて考えることができた。今後も連携しながら1人でも多くの方をサポートしていきたい。

1人1人障害や持っている課題が違うのでそれぞれに合った話し方・セミナーの進行度を提供しなければならない。そのためにセミナーの開催にあたり事前協議を行い、参加者の現状とニーズ・具体的な目標の確認を実施し、事前に参加者の情報を事業者様側と共有しておくことも必要だと感じた。

開催後の反省・検証と次年度に向けた取り組みの協議などを実施しないと、実績や経験を蓄積できなくなる恐れがあるため検証のための会議開催が必要だと思われる。

連携先企業 (担当者)	①福井市商工労働部しごと支援課&株式会社キャリアプラス (キャリアコンサルタント 石田 寿) ②ハローワーク福井
-------------	---

### 利用者からの意見・評価

・一般就労を目指しているけど、何から取り組んでいいのかわからなかったから一緒に準備できて安心した。長い時間ずっと頭を使ったので途中で気分が悪くなった時もあったけど、履歴書と一緒に作ることが出来て良かった。今度、今日作った履歴書を持って合同面接会にいってきます！頑張ります！(R5.10月に行われた合同面接会に参加後、R6.1月に一般就労されました。後日談として、このセミナーに参加したおかげで自分に自信が持てた、自分に合う仕事は何かと改めて考えることが出来た、だから就職できた！と笑顔で話されていました。)

・ハローワークって聞いたことはあったけど、何をするといいのか分かっていなかった。ここで訓練して一般就職する時には私に合うお仕事探しの手伝いをお願いしたいなと思った。実際にハローワークの人から話を聞けてとても勉強になったし、自分を応援してくれる人が周りにいるんだなと思うと心強かった。

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	ネクステクノ
住所	福井市高柳1丁目1302
電話番号	0776-54-7665

事業所番号	1810102325
管理者名	足田 耕二
対象年度	令和5年度

(I) 労働時間		40 点
①1日の平均労働時間が7時間以上		
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	○	
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		

(II) 生産活動		60 点
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点		

(III) 多様な働き方（※）		15 点
①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度		
就業規則等で定めている	○	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている		
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている		
小計（注1）		5 点
（※）8項目の合計点に応じた点数 （注1）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点		

(IV) 支援力向上（※）		15 点
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合	○	
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）		5 点
（※）8項目の合計点に応じた点数 （注2）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点		

(V) 地域連携活動		10 点
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	
1事例以上ある場合：10点		

(VI) 経営改善計画		0 点
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	
期限内に提出していない場合：-50点		

(VII) 利用者の知識・能力向上		10 点
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	
1事例以上ある場合：10点		

項目	点数
労働時間	5点 20点 30点 40点 55点 65点 80点 90点
生産活動	-20点 -10点 20点 40点 50点 60点
多様な働き方	0点 5点 15点
支援力向上	0点 5点 15点
地域連携活動	0点 10点
経営改善計画	0点 -50点
利用者の知識・能力向上	0点 10点

合計	150 点 / 200点
----	-----------------

## 就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（実績 I ～ IV、VI）

(I) 労働時間					
前年度（令和5年度）					
雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	47,231	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	10,822	人
			利用者の1日の平均労働時間数	4.36	時間
(II) 生産活動					
会計期間（4月～3月）					
前々々年度（令和3年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	43,059,197	円	利用者に支払った賃金総額	40,873,583	円
			収支	2,185,614	円
前々年度（令和4年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	48,115,298	円	利用者に支払った賃金総額	41,497,485	円
			収支	6,617,813	円
前年度（令和5年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	49,019,998	円	利用者に支払った賃金総額	42,923,438	円
			収支	6,096,560	円
(III) 多様な働き方					
前年度（令和5年度）における取組（全体表「(III) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）					
①免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度		②利用者を職員として登用する制度		③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律	
◎免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度を定めている <input checked="" type="checkbox"/>		◎利用者を職員として登用する制度を定めている <input checked="" type="checkbox"/>		在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている <input type="checkbox"/>	
④フレックスタイム制に係る労働条件		⑤短時間勤務に係る労働条件		⑥時差出勤制度に係る労働条件	
◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている <input type="checkbox"/>		◎短時間勤務に係る労働条件を定めている <input checked="" type="checkbox"/>		◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている <input checked="" type="checkbox"/>	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		⑧傷病休暇等の取得に関する事項			
◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている <input checked="" type="checkbox"/>		◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている <input type="checkbox"/>			
(IV) 支援力向上					
前年度（令和5年度）における取組（全体表「(IV) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）					
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		②研修、学会等又は学会誌等において発表		③視察・実習の実施又は受け入れ	
◎研修計画を策定している <input checked="" type="checkbox"/>		◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している <input checked="" type="checkbox"/>		◎先進的事業者の視察・実習の実施している <input type="checkbox"/>	
◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。 <input checked="" type="checkbox"/>		※研修、学会等名 チャレンジ！障がい者スポーツセッション		もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている <input checked="" type="checkbox"/>	
※研修名 成年後見人の申し立て支援（権利擁護研修）		実施日 4月23日		※先進的事業者名	
研修講師 近藤 俊英氏・吉田 美保氏		※学会誌等名		実施日/参加者数 月 日 人	
実施日・受講者数 10月23日 30人		掲載日 月 日		※他の事業所名 緑江市精神障がい児（者）福祉協会（四つ葉会）	
		発表テーマ		実施日/参加者数 11月25日 13人	
④販路拡大の商談会等への参加		⑤職員の人事評価制度		⑥ピアサポーターの配置	
◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。 <input checked="" type="checkbox"/>		◎職員の人事評価制度を整備している <input checked="" type="checkbox"/>		◎ピアサポーターを配置している <input type="checkbox"/>	
※商談会等名 Poca pocca Festival		◎当該人事評価制度を周知している <input checked="" type="checkbox"/>		◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポート研修」を受講している <input type="checkbox"/>	
主催者名 Poca pocca Festival実行委員会		人事評価制度の制定日 H28年4月1日		※配置期間 月 日～月 日	
日時 9月9日		人事評価制度の対象職員数 11名		就業時間	
内容 福祉事業所の商品力強化		うち昇給・昇格を行った者 11名		職務内容	
ブースは出さずに取引先と共に販売会に参加		当該人事評価制度の周知方法			
		昇給体制および評価の仕組みの揭示			
⑦第三者評価		⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等			
◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている <input type="checkbox"/>		◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている <input type="checkbox"/>			
※評価を受けた日 月 日		※認証を受けた日 月 日			
第三者評価機関		規格等の内容			
(VI) 経営改善計画					
◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。 <input type="checkbox"/>					
※受理日 年 月 日					

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。